

新潟県の地震概況 令和5年(2023年)8月

令和5年9月13日

新潟地方気象台

【8月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回(最大震度は2)でした。新潟県とその周辺(図1)で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震は1回でした。(「期間内に発生した主な地震」を参照)。

【8月に新潟県周辺で発生した地震】

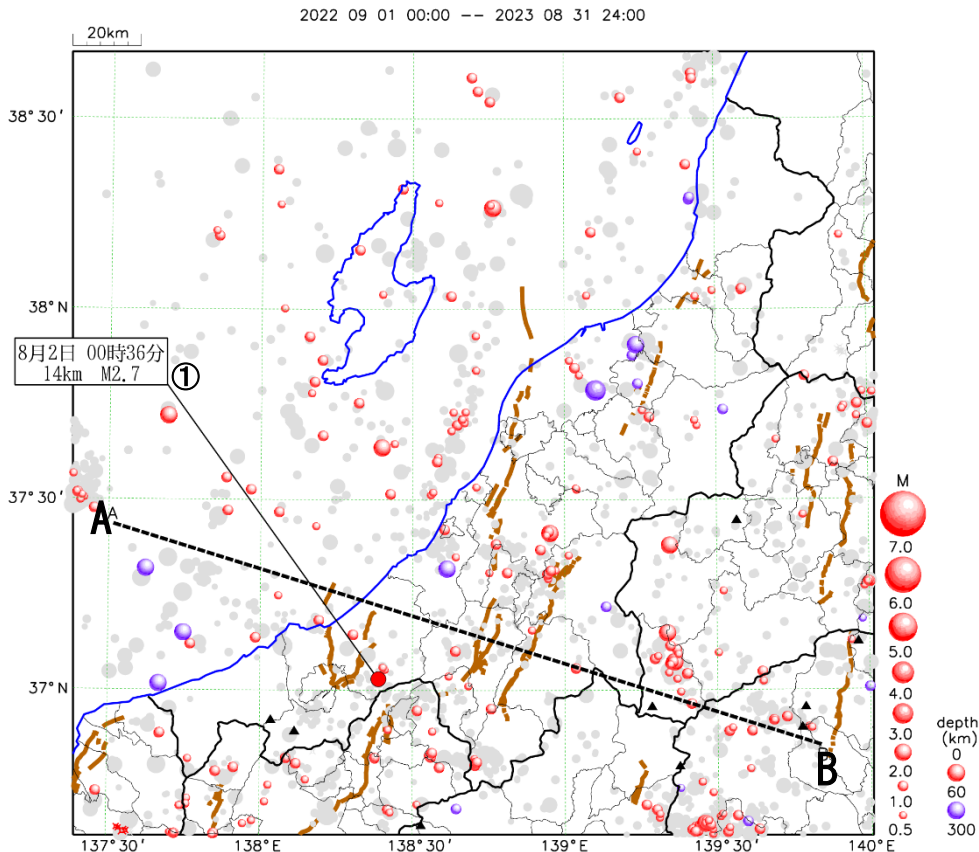


図1 震央分布図(深さ0~300km、M0.5以上)

※過去1年間の地震を表示。令和5年8月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、✕は深部低周波地震を示す。

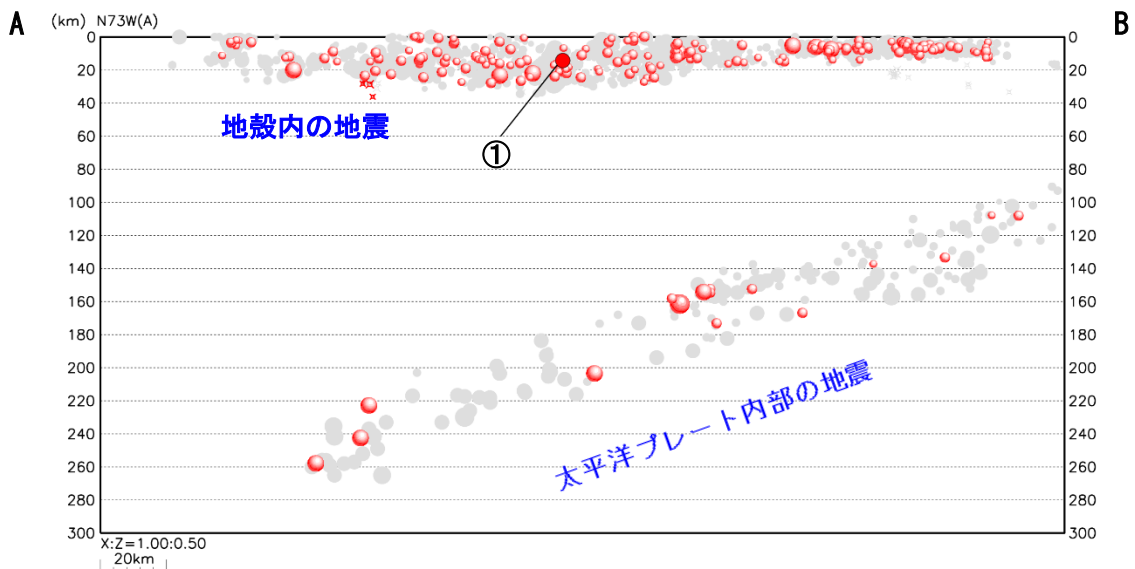


図2 断面図(図1の領域内をA-B面投影: 縦軸の深さは1/2の縮尺)

【期間内に発生した主な地震】

- ① 2日00時36分 新潟県上越地方の地震 (M2.7、深さ14km) により、新潟県上越市で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。
- ② 11日09時14分 青森県東方沖の地震 (M6.2、深さ28km) により、青森県、岩手県で震度4を観測したほか、北海道から関東地方及び新潟県、山梨県、静岡県にかけて震度3～1を観測しました。新潟県内では村上市で震度2、南魚沼市で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生しました。
- ③ 25日07時48分 三陸沖の地震 (M6.0、深さ15km) により、青森県、岩手県、宮城県で震度3を観測したほか、北海道、東北地方及び茨城県、新潟県で震度2～1を観測しました。新潟県内では村上市で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生しました。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近では、M5.0以上の地震が時々発生しており、2015年2月17日にはM6.9の地震(最大震度4)が発生しています。この地震では、新潟県内でも村上市で震度3を観測したほか、広い地域で震度2～1を観測しています。

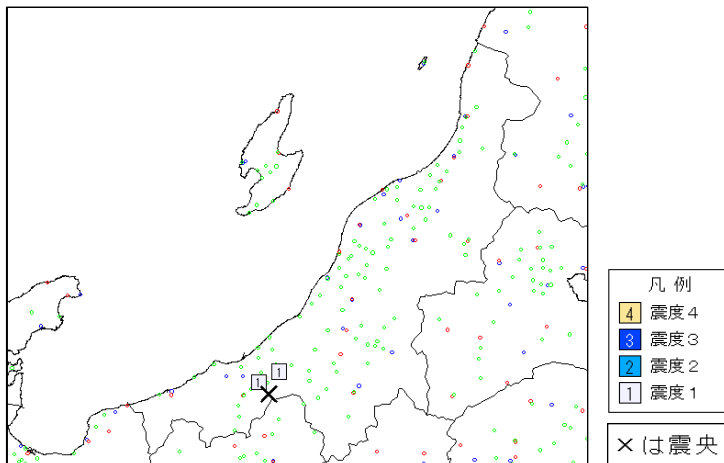
【新潟県内で震度1以上を観測した地震】 期間 2023年8月1日～2023年8月31日

地震の発生日時(年/月/日/時:分)	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2023年08月02日00時36分	新潟県上越地方	37° 01.7' N	138° 23.3' E	14km	M2.7	1
震度 1 : 上越市安塚区安塚*, 上越市清里区荒牧*						
② 2023年08月11日09時14分	青森県東方沖	41° 07.5' N	142° 54.7' E	28km	M6.2	4
震度 2 : 村上市岩船駅前*						
震度 1 : 南魚沼市六日町						
③ 2023年08月25日07時48分	三陸沖	39° 29.2' N	143° 20.3' E	15km	M6.0	3
震度 1 : 村上市岩船駅前*						

【震度分布図】

図中○は震度観測点を示す

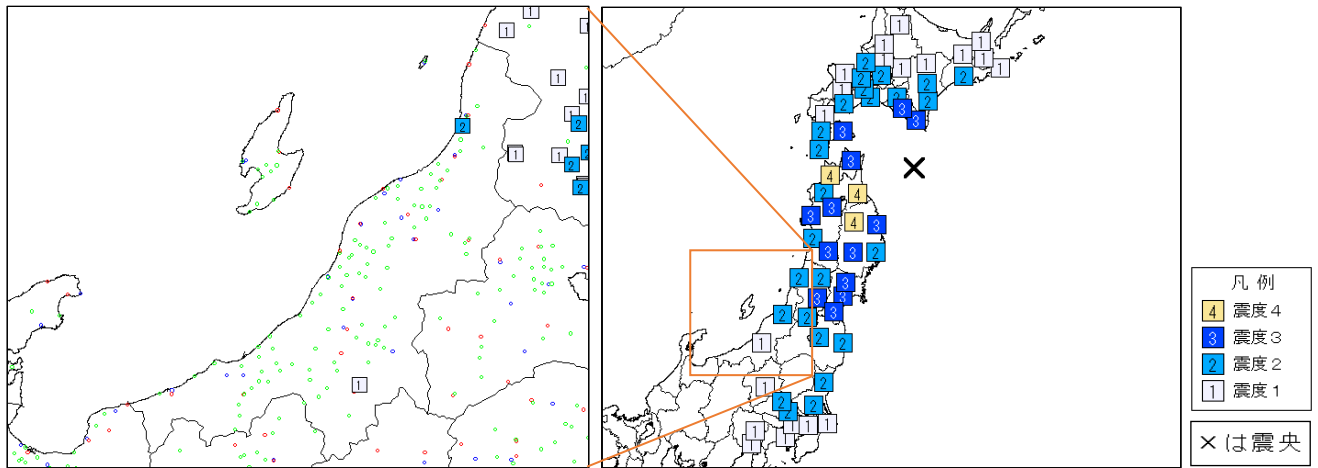
- ① 2日00時36分 新潟県上越地方
観測点別震度分布図



図中○は震度観測点を示す

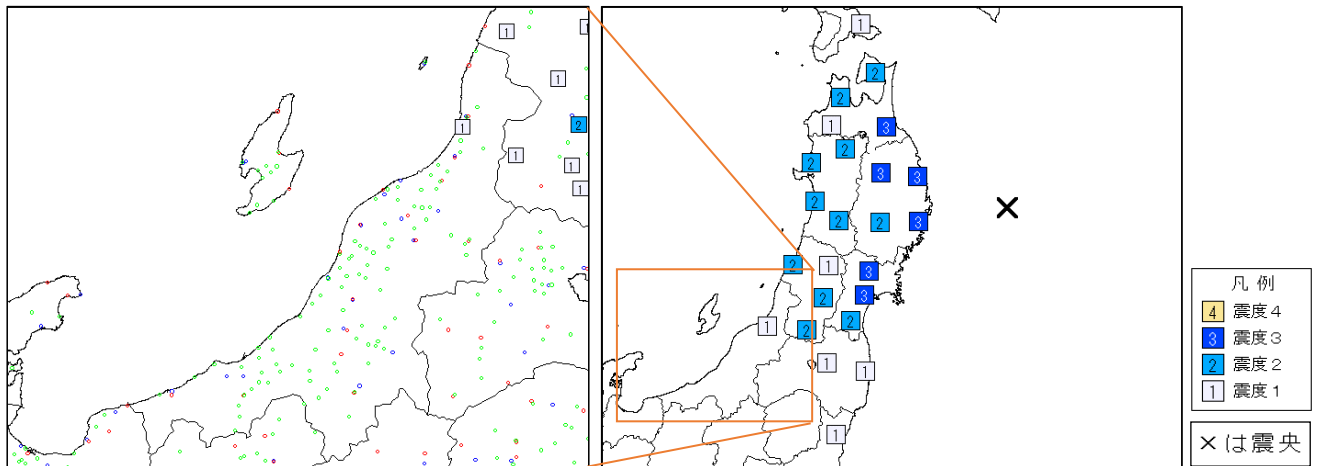
② 11日09時14分 青森県東方沖
観測点別震度分布図

地域別震度分布図



③ 25日07時48分 三陸沖
観測点別震度分布図

地域別震度分布図



【新潟県内で最大震度1以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2022年				2023年								合計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
震度1	2	2	5	1	3	0	3	2	7	2	3	2	32
震度2	0	1	2	0	1	1	0	0	3	0	0	1	9
震度3	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	4
震度4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
合計	2	3	7	1	4	1	3	3	15	2	3	3	47

【火山活動状況（新潟焼山）】

新潟県の活火山「新潟焼山」の火山活動状況や警戒事項については、以下の資料をご覧ください。

「新潟焼山の火山活動状況」（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/307.html

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

今年は、甚大な被害をもたらした関東大震災から100年、福井地震から75年、日本海中部地震から40年です。あらためて地震・津波災害の重大さを認識し、普段の地震・津波への備えの確認をお願いいたします。各特設サイトが設けられていますのでご覧ください。

※東京管区気象台HPに各ページの案内を設けています。<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/>

- ・「関東大震災から100年」特設サイト
- ・「関東大震災から100年」こども向けサイト
- ・「日本海中部地震」のサイト
- ・「福井地震」の特設サイト

※新潟県地震概況「地震津波一口メモ」では、[2023年4月に日本海中部地震](#)、[2023年7月に大正関東地震](#)を取り上げて掲載しておりますのでご覧ください。

注) 利用にあたって

- ・資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- ・新潟県内で震度1以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- ・気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

- ・この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- ・資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

「防災の日」と「防災週間」及び「津波防災の日」 ～いつかくる災害に備えて～

毎年、9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」、11月5日は「津波防災の日」です。この期間には、国や防災関係機関をはじめ、広く住民の方が地震、津波等の災害の理解を深め、これに対する備えを充実強化していくため、全国各地で規模の大きな地震を想定した防災訓練等のイベントが開催されます。

この期間に限らず新潟県内でも各市町村で「一斉防災行動訓練（シェイクアウト訓練）」が行われ計画されています。この機会にこれらのイベントに参加したり、訓練内容を確認する等により、防災に対する意識を深め、日頃からの備えと規模の大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認し、災害にしっかり備えましょう。

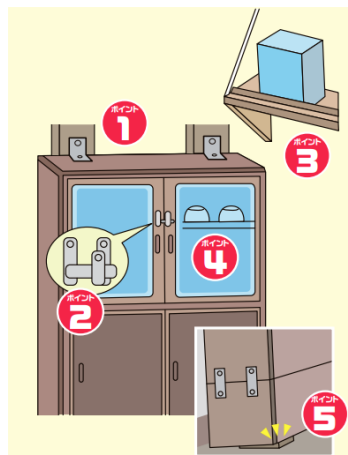
◎日頃からの備え

日頃からの地震への備えには、『家具の固定や配置の見直し』、『水や食料・生活用品の備蓄』、『建物の耐震診断や耐震化』等があります。近年、規模の大きな地震が発生した際には、多くの人々が家具の転倒によりケガ等を行っています。右の図を参考に家具を固定しましょう。

また、寝室に重い家具を置かないなど、配置にも気を配りましょう。規模の大きな地震が発生した時は、電気・水道・ガスなどのライフラインが停止することがありますので、水や食料品などを備蓄しておきましょう。建物の耐震診断などは市町村の住宅建築窓口へ相談しましょう。



地震のとき、倒れてきた家具の下敷きになってけがをしないよう、家具の配置を見直し、固定しましょう。



- ポイント 1** 十字金具を使って家具を安定させるときは、ボルトを強い柱や丈夫な壁に取り付けてください。
- ポイント 2** 観音開きの扉のついた家具には、ストッパーを付けてください。扉が開き、中のものが飛び出さないようにしてください。
- ポイント 3** 天井からつり下げている棚は、つりひもを強くしてください。棚に置いているものが落ちてこないようにすべり止めもつけてください。
- ポイント 4** 平成16年の中越地震では、割れたガラスでけがをした人がたくさんいました。ガラスに飛散防止フィルムを貼ってください。
- ポイント 5** 家具と床の間に板などを入れ、家具を壁側に傾かせてください。

新潟県防災局パンフレット「家族防災会議」より

◎とるべき行動

緊急地震速報を見聞きした場合や地震による強い揺れを感じた時の具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。一例を紹介します。

屋内にいるとき

● 家庭では

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
あわてて外に飛び出さないでください。
無理に火を消そうとしないでください。



屋外にいるとき

● 街中では

ブロック塀の倒壊等に注意してください。
看板や割れたガラスの落下に注意してください。
丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。



その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/koudou/koudou.html>

○新潟県防災局のページには、「家族防災会議」を始め、防災に役立つ各種パンフレットが掲載されていますので、ご活用ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bosai/1356860961869.html>